

ありたまふも重し内庭
 み竹の青とをまに
 けりてと 入をとり
 蘭をわくふみまに
 下相のまをて
 かりてと 入をとり
 てして上をに
 まして塗まに
 七日すまに
 針り出に
 釜り入湯
 の中よ
 暖はるに
 て



北尾重文画

おおのりし家 八
 五条とけら
 ねるをて
 縁の
 なま
 みるを
 春草



春草画

Shunso

神をあら
 子の手の
 とすれど
 安物山
 を産
 の
 秋代巻
 くれを
 買と
 の
 代雄
 天
 帝
 天
 帝

勝川春章画



細糸の
 粗糸の
 ま
 天
 上中下
 飛
 東
 北
 北尾重政画



北尾重政画

Shuncho

Shiyama

源氏物語のちりめり
のうらみよきこと
志す孫も衣
妻の製し
みかたは唐
の大具し
帝九代と記
との文礼記
のうらみよき
みねては
しゆり我
大己老林
活古俗如
色かみ時父
世去んそ
積麻汁
をて部人の
煙巻に條
と糸のいと
ありし
三徳ふる

勝川春章回



源氏百人一首錦織

天明六年丙午正月吉日

書林

東都日本橋南三町目

前川六九衛門版

志す孫も衣

妻の製し
みかたは唐
の大具し
帝九代と記
との文礼記
のうらみよき
みねては
しゆり我
大己老林
活古俗如
色かみ時父
世去んそ
積麻汁
をて部人の
煙巻に條
と糸のいと
ありし
三徳ふる



tosungusa
(milk-graining
etc.)
by Shunsho and
Shigemasa.
0404